

(2)

最終試験結果の要旨	
学位申請者 氏名	Md Abul Hashem
審査委員	主査 鹿児島大学 教授 大和 修
	副査 山口大学 教授 西垣 一男
	副査 山口大学 教授 早坂 大輔
	副査 鹿児島大学 教授 田仲 哲也
	副査 鹿児島大学 教授 矢吹 映
審査協力者	印
実施年月日	令和4年 7月 28日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。) ○口答・筆答	
試験結果の要旨： 主査および副査の5名は、令和4年7月28日(木)鹿児島大学で行われた公開審査会において、学位申請者本人に対して学位論文の説明を求め、論文内容および関連事項と専攻分野に関する基礎知識に関して試問を行った。その結果、発表内容、態度ともに優秀であり、審査委員および出席者からの質問に対しても的確に応答した。また、申請者は研究倫理について十分に理解し、それを遵守している。 以上の結果、審査員5名は、申請者は博士(獣医学)の学位を与えるに十分な資格を有するものと判断した。	

学位申請者 氏名	Md Abul Hashem
-------------	----------------

学位審査委員会では、下記の様な質疑が行われた。

大和委員：死亡したコアラの子供は6ヶ月令で育児嚢から出ていた。なぜKoRV-Bには感染しなかったのか？

回答：exogenousな感染形式を持つKoRV-Bに感染しなかったのは理由は不明である。

大和委員：コアラレトロウイルスはどの細胞に主に感染するのか？

回答：コアラ嚢児はすでに死亡していたので解析できなかったが、以前の別個体での解析では、末梢リンパ球には感染していた。

西垣委員：コアラレトロウイルスサブタイプのレセプターは何か？

回答：KoRV-AはPit-1, KoRV-BはTHTR1で他のサブタイプでは不明である。

西垣委員：コアラレトロウイルスはviremiaを起こさないのか？

回答：起こさない場合と起こす場合があり、その違いの原因は不明である。

西垣委員：死亡したコアラ嚢児の死因は何か？

回答：腹水なども貯留しており、リンパ腫も影響していたと考えられる。

早坂委員：KoRV-Bが重感染すると病原性が高まるのは何故か？その増悪化因子は同定されているか？

回答：KoRV-Bによる増悪化因子は不明である。しかし、KoRV-BはKoRV-Aに比べ遺伝子変異が多く、免疫を逃れやすい可能性がある。

田仲委員：日本の動物園コアラにおいてKoRV-Eがないのはなぜか？

回答：オーストラリアでも元々少ないためと考えられる。

田仲委員：動物園コアラにおいてウイルス感染に性差が認められないのは何故か？

回答：野生のコアラではメスの方が感受性があるとの報告もあるが、この違いは動物園の環境と野生の環境の違いと考えている。

矢吹委員：ツパイ細胞にコアラレトロウイルスを感染させたのは何故か？

回答：ツパイが本研究室で動物モデルとして開発中であり、コアラは希少で動物実験ができないので、ツパイを検討した。

矢吹委員：データの統計解析をする際に予め正規分布をしているか確かめたか？

回答：これは行わなかったもので、今後実施する様にしたい。

以上の様に審査委員の質問に対して概ね適切に回答し、申請者は博士（獣医学）の学位を付与するに十分な資格を持つと全ての審査員から評価された。